

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	12	学校名	仙台市立八幡小学校	校長名	高山 典子
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

「環境に対する認識を深め、実践的態度を備えた子供を育成する」



2 取組の紹介

【学校全体の取り組み】

児童会祭は、お店を開く前にごみを減らす方法を考えるなど、SDGsを意識させて行いました。その結果、再利用できる材料を考えたり、材料を少なくする工夫をしたりする姿が見られました。また、既存の施設を利用して、遊びを工夫する姿が見られました。お店を開いた子供からは、「ごみを出さなくても楽しいことができる。」という感想が出ました。皆で知恵を出し合った結果、ごみの量も、例年より少なくなりました。

【3年生の総合的な学習の時間】

3年生は、「広瀬川河川敷でのフィールドワークにあたり、河川敷の安全を確かめ、学習の具体的な計画を立てること」をねらいとして、ゲストティーチャーと一緒に広瀬川で校外学習を行いました。子供たちは、びしょ濡れになりながらも水生生物を無我夢中で探していました。「虫がたくさんいて大変だったけど、楽しかった。」や、「八幡の身近な自然を知れて良かった。」などの声が聞こえてきました。

後日、ゲストティーチャーをお招きして流域ごとの広瀬川の写真や動画を見たり、水槽の中の水生生物を観察したりする学習をしました。広瀬川について学ぶことで、「川を守るために、ごみを拾う。」と話す姿が見られ、川の環境を守ることが海の環境を守ることにつながることを知りました。身近な自然から学ぶことで、一人一人が環境を守るという意識の高まりが見られました。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

児童会祭でのごみを減らす取り組みの結果、日常の学校生活の中でも進んでティッシュの箱やお菓子の箱を図工に再利用する姿が見られるようになりました。また、子供からSDGsという言葉が以前よりも聞こえてくるようになりました。

3年生の総合的な学習の時間では、実際に水生生物に触れて身近な自然について学習をしたことで、広瀬川や環境問題に興味を持つことができました。また、自然を守って大切にしようとする態度を育むことができました。